

平成23年度 当初予算 (案)

主な事業の説明書

市立大曲病院

款 項 目 大事業

ページ

市立大曲病院事業

9 - 1

事業説明書

(計画の体系) 保健・医療の充実

款 項 目 事業

新規 ・ (継続)

課所名 市立大曲病院 管理課

【事業名】 市立大曲病院事業

【説明項目】 市立大曲病院事業

【予算額】

収益的収支 【23年度】 979,189 千円 【22年度】949,576 千円 【増減額】 29,613 千円
資本的収支 【23年度】 98,780 千円 【22年度】 98,314 千円 【増減額】 466 千円

1. 事業の目的

市民の健康保持に必要な医療の提供を行なう。
精神科的症状を呈する患者に対し、適切で良質な医療の提供を行ない、安定した療養生活の継続や自立、社会復帰の支援をする。

2. 事業の目標

標榜科目・・・精神科、神経科（、内科）
病床数・・・120床（一般精神病棟70床、認知症病棟50床）
入院及び外来診察の実施（年間取扱患者数）
・入院・・・42,090人（1日当たり115人 366日）
 一般精神病棟・・・24,888人（1日当たり68人）
 認知症病棟・・・17,202人（1日当たり47人）
・外来・・・14,864人
 外来・・・14,640人（1日当たり60人 244日）
 訪問看護・・・224人（1日当たり2人、週2～3日 49週実施）

3. 事業の概要

平成21年に策定した病院改革プランに基づき、経営の効率化を目指しながら、地域医療の充実を図る。

入院に関しては、一般精神病棟、認知症病棟ともに在院日数の長期化対策を念頭に、新規の入院患者の受け入れに努めるとともに、総合病院と老人介護施設等の中間に位置する病院として患者の受け入れを行ない、外来に関しては、年々患者が増加している傾向にあり、在宅支援の観点からの訪問看護・指導事業も含め、更なるサービスの向上を目指しながら患者の確保に努める。

今後の病院の目指す方針の実現のため、職員の配置は医師4名、看護師等40名、医療技術者（薬剤師、臨床検査技師、栄養士、作業療法士）6名、介護職員9名、精神保健福祉士2名、事務4名の定数65名を確保し、嘱託職員（看護師等）2名、臨時・パート職員8名を加え院内では合計75名体制とする。更に、臨床心理士や当直専門の非常勤医師等を確保し、法基準の充足と勤務環境の改善を図る。

【収益的収支予算】

病院事業収益	979,189千円	
医業収益	740,191千円	（うち入院 553,002千円、外来 183,629千円）
医業外収益	238,998千円	（うち一般会計負担金 237,852千円）
病院事業費用	979,189千円	
医業費用	929,571千円	
医業外費用	48,118千円	
予備費	1,500千円	

【資本的収支予算】

資本的収入	0千円	
資本的支出	98,780千円	

（収入額が支出額に不足する額は、過年度損益勘定留保資金で補てん）

4. 財源内訳

				(千円)
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
979,189			741,337	237,852
98,780			98,780	0